

## 第2回宗像市廃棄物減量等推進審議会会議録

令和2年1月17日（金）

13：30～15：00

宗像市役所第2委員会室

◎出席委員 □出席 ■欠席

□高山 國敏 □中島 真弓 □二渡 了 □南 栄子 □矢野 章

□吉積 明子

◎事務局

□市民協働環境部長 中村 秀治

□下水道課長 吉田 和弘 □事業係長 石松 豊弘

□事業係長 花田 貴則

□環境課長 安川 雅志 □参事兼環境対策係長 橋本 敦生

□主任主事 伊達 文子 □主事 中村 結

◎傍聴 0名

◎審議会開始

事務局 第1回審議会での直近の実績値が分からないとの指摘を受け、審議会資料一般廃棄物処理基本計画（案）差し替え。議事録修正は、議事録7ページ令和5年末を令和5年度末に修正。計画に下水道についても記載がありますので、下水道課職員が出席しております。

委員 前回欠席であった南委員自己紹介

1. 会長あいさつ

会長 あいさつ

2. 審議事項 宗像市一般廃棄物（生活排水）処理基本計画

会長 議事を進めたいと思います。事務局説明をお願いします。

事務局 前回の質問について回答します。公共下水道と、終末処理場があります。その2つが公共下水道の計画となり、今回の計画の審議対象外です。公共下水道を除いた部分が審議対象となります。次に、し尿処理施設について、令和5年度末で閉鎖し、令和6年度から、終末処理場敷地内に投入施設を整備し処理す

ることについて説明しました。合併処理浄化槽と単独処理浄化槽、ここで発生した汚泥を、し尿処理施設に運んで処理しています。また、汲み取りのし尿も、し尿処理施設に運んで処理しますが、この汚泥とし尿の投入施設を終末処理場内に作って、そこに投入後、下水と一緒に終末処理場で処理いたします。

事務局 前回、委員よりいただいた質問に対し回答します。資料1を参照ください。  
①下水道総延長は580.3km。②下水道管更新延長87.1km。③下水道管維持管理計画は5か年計画であり、現在の計画は平成28年度から令和2年度まで。  
④合併処理浄化槽設置基数は326基。⑤合併処理浄化槽管理基数は301基で、全体の92.3%

次に、今回の見直しで変更点が大きく3点ございます。

一点目が、し尿処理している宗像浄化センターを令和5年度末で廃止し、令和6年度からは終末処理場内にし尿等の投入施設を整備し、宗像終末処理場で処理します。

二点目が、鐘崎地区の漁業集落排水施設について、今年度で廃止し、来年度からは公共下水道につなげて、宗像終末処理場で処理する予定としております。

三点目が、令和6年度の目標数値の見直しを行っております。

宗像市一般廃棄物（生活排水）処理基本計画の見直し案について現計画の変更点を説明。

今回の計画案は10ページまでとして、資料編については参考資料とさせていただきます。パブリックコメントを行う際には、こちらも閲覧できるようにしたいと考えています。

会長 処理基本計画の案ということで、数値の根拠も含めてご説明いただきました。ご意見有りましたらお願いします。

委員 最初に、下水についてはこの計画では対象外と説明があったが、3ページには基本施策として、下水道の整備及び適正な管理が含まれるが、どのように理解すればよろしいか。

事務局 当初の計画にこのとおり記載していたが、この計画は一般廃棄物（生活排水）の処理計画ですので、それに該当する一般廃棄物の収集運搬と処理に関することになるが、当初から状況が変わったわけではないので、当初のままで見直しは行わない。

事務局 下水道は一般廃棄物から外れる。ただ、下水道に関する考え方を一部示しておかないと、こちらはどうなっているのかというところになるので、大綱には基

本的な考え方として提示している。

委員 細かい整備計画や更新計画は、ここではないと思うが、基本施策に文言がある以上、これに関しても、何らかの意見なりを出せるんじゃないかなと思うが、この部分は計画には関係ないということか。生活排水のうち、公共下水道による処理が90%以上を占め、1970年から始まっている。50年も経っている。これから下水道処理場、下水道の維持管理というのは、市民にとっては大事でありお金もかかる。市民としても、公共下水道も含めた生活排水の処理と水質保全として、この計画をとられるのではないか。

事務局 この計画は、し尿及び雑排水の適正処理や一般排水の処理に関する計画ではあるが、参考資料として全体背景からお示ししている。下水道については、参考としてお示しする、ということを表の下なりに記載するというのはいかがか。

会長 基本施策2は、下水道の整備及び適正な管理というところがありますが、当初の計画の中から入っていた。一般廃棄物にも下水道はかかわりがある。生活排水処理は、下水として処理したり、廃棄物として処理したりする。つながりがまったくないことではない。事務局が言われたように、基本施策2は変更するのか。

事務局 この計画は、一般廃棄物の処理に関する計画だが、下水道の言及するのは、一体不可分なので参考としてお示しする。参考的な施策として標記するのはどうかと提案した。

委員 一般廃棄物と下水道を完全に切り分けることは難しい。施策2で上げるのではなく、参考資料的に計画を記載してはどうか。

事務局 下水分野における施策として、この計画の施策ではないが一体不可分なので記載すると、いう形で、欄外にそれを補足したい。

会長 関連施策としてはどうか。

事務局 はい。

委員 人口推計4ページと、資料編9ページ。現在の30年の人口が実績と推計値で300人近くの乖離がある。その差を引きずっていくことになるが、それでいいのか。

事務局 令和6年度人口推計が総合計画しかない。この数値でいきたい。

事務局 人口をどこに置くかは大きな問題であるが、本計画では、人口差は下水処理内での誤差と解釈できるのでは。この計画においては、マスタープランを採用したい。

会長 予測したスタートが28年。2年でそれほど減ってない。市街化区域内となると下水道が対象。この生活排水のところではそれほど影響はないのでは。

委員 前処理施設について、し尿の量と合併浄化槽汚泥の量の割合によって、施設の能力、規模は変わるのか。

事務局 し尿の前処理施設につきまして、説明します。今まで曲のし尿処理場に、し尿のくみ取り分と、合併処理浄化槽の汚泥分をくみとって、もって行っていた。今回、宗像の終末処理場のほうにもって行って処理するという。令和6年度、今度作る施設ですが、し尿が約3キロリットル、浄化槽の汚泥が5.4キロリットルということで、併せて8.2キロリットル位になると思うが、この量が入ってくるという予測がたてられている。余裕をみて、11キロを処理できる施設をつくるということで進んでいる。それを宗像終末処理場にもってきて、バキュームから抜き取る。そのごみやし渣をとって、その分を汚泥処理、水処理と汚泥処理があるが、汚泥処理の方にもっていきたいと計画をしている。変動というか、その量は将来的に1400、1500人の一部が入ってくるが、受け入れ先は93000人の下水処理施設なので、受け入れとしては微々たる。通常運転をかけながら、し尿と合併処理浄化槽を平行して処理していきたい。

事務局 整備の内容については計画段階。方法だけご理解いただければ。

委員 し尿と汚泥の割合が変わろうと前処理施設の規模には関係ないとのことか。

事務局 現状のし尿と汚泥の量、性状を調査した上での、現状に合わせた前処理施設を整備するという考え。

会長 し尿処理そのものの施設を作るのではなく、下水処理施設に投入するような前処理施設をつくる。前処理する対象はし尿と浄化槽汚泥ということで、量的にはある程度余裕を見込んで計画するということだと思う。センターの概要があるが、計画は具体的になっていないと思うが、処理したあとの放流は下水処理施設で処理ということになると思う。

委員 なぜこの質問をしてるかという、汲み取りから合併処理浄化槽に変わったときに、施設を縮小できるのではないかと考えて質問した。処理能力を考えたときに、合併処理浄化槽の汚泥だけになれば、前処理施設の経費削減ができるのでは。

事務局 量が 11 キロリットルとかなり少ないため、多少変わっても、規模は変わらない。

会長 宗像市内でし尿をくみ取りしている分がどうなるかと考えれば、浄化槽、合併処理とかに変わることは考えられますが、その辺が変わるとしても、汚泥処理で十分に間に合うかなということですね。

委員 5 ページ 基本方針。水環境に関する啓発、広報活動はしているのか。下水道も含めてお聞きしたい。

事務局 釣川の年 4 回水質検査し、その結果については、市広報、ホームページ掲載している。

事務局 下水道については、市広報で、油やおむつなど流さないよう注意を掲載している。また、環境フェスタにブース出展し啓発を行った。

事務局 水辺教室、釣川クリーン作戦等清掃活動をしている。広く水についての啓発を行っている。

委員 流してしまえば、終わりのところがあるので、市民への広報に下水道の維持経費含めて啓発すればと思う。経済的な部分も含めた啓発をお願いしたい。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。

会長 生活排水というと広くこういう記載になるかと思う。積極的に啓発してもらえればと思う。

委員 2 章のところ、結局下水道は、基本施策の 2 として挙げていてもいいのではないか。

このままがいいのではないか。

委員 入れていただいてもいい。公共下水道がメインの生活排水処理。公共下水道が維

持できるのかと心配しているし、市民としても気になると思う。パンクしたら暮らしはどうなるのかと心配しているし、しっかり維持してほしい。鐘崎の漁業のコミュニティプラントを廃止ということになっているが、合併の時に旧玄海地域のコミュニティプラントを廃止して、公共下水道にポンプアップしてつないだが、あれはどうなのかと心配していた。今の維持にはいろいろとお金がかかるということを、みんなが共有してほしい。

会長 下水の整備計画は含まない旨記載してはどうか。3 ページの基本施策に戻すということでもいいか。

事務局 注釈として、下水の計画名をいれて、別にあることを記載するという方がいいか。

会長 下水道は、100%にはならないですね。

事務局 大変な費用がかかる。

会長 今回の意見を基に修正して答申としてよろしいか。基本施策は残して、計画名を追加するという形にします。  
概ねこれで答申とさせていただきます。

事務局 修正案、答申書案を事務局で作成後、会長、委員に確認後、答申とさせていただきます。

会長 そのようにしたいと思います。

会長 3のその他。事務局お願いします。

事務局 パブリックコメントを2/18～3/20で実施。閲覧場所は市役所、大島行政センター、メイトム、ユリックス、各コミュニティセンター。その他については以上です。

委員 内容によっては、市民説明会は、実施しないのか。

事務局 今回は行う予定はない。市民参画の手法として、審議会、パブコメで2つ実施している。

会長 審議会は案をまとめて市長に答申して、パブコメするということですね。パブコメ意見に対して、事務局で適切に対応する。説明会の予定はないということによろしいか。

会長 4. 次回開催について。事務局よろしくお願いします。

事務局 計画案の修正と答申書（案）を委員の皆さんに承認いただければ、1月30日14時30分から、会長、副会長のみ出席でと考えているがどうか。

会長 計画（案）と答申（案）がまとまった時点で、皆様にお送りして、会長、副会長で答申します。

これで、第二回の廃棄物減量等推進審議会を終了します。